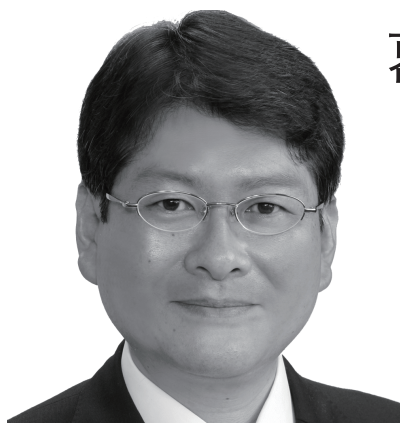


区議会レポート

43号



葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：平成 30 年度予算

裏面：代表質問・タウンミーティング報告

2018 年 3 月 12 日発行

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

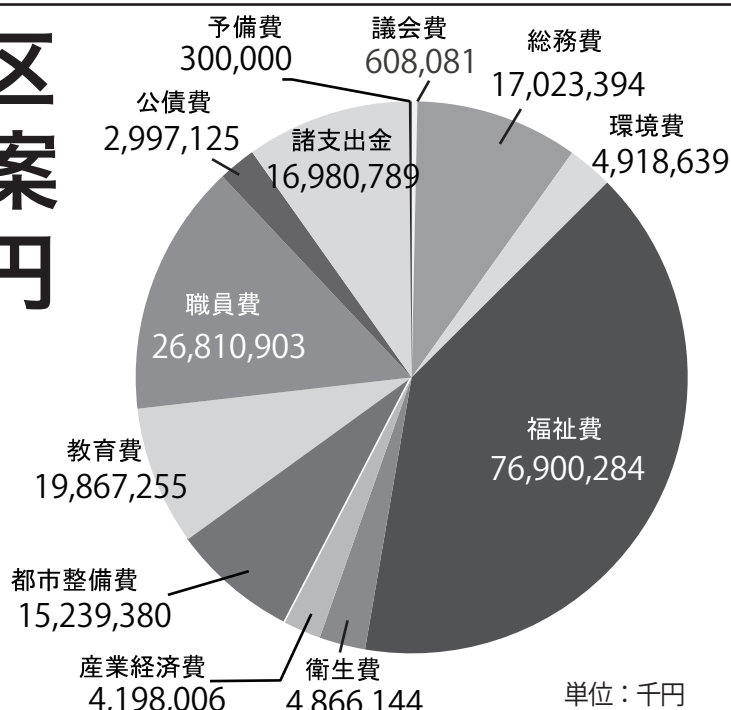
f a x 03-3697-0137

平成 30 年度葛飾区 一般会計当初予算案 1,907 億 1,000 万円

去る 2 月 16 日に平成 30 年葛飾区議会第一回定例会が開会しました。合わせて平成 30 年度当初予算案が発表され、一般会計予算では前年度から 0.1% 増の 1,907 億 1,000 万円の予算案が計上されました。各款別の予算状況は右グラフの通りとなっています。

今回の予算案では地方消費税交付金の精算基準の見直しによる減収の一方、納税義務者数の増による特別区民税の増、法人住民税の堅調な推移による特別区交付金の増が見込まれています。国による地方消費税交付金の精算基準の見直しは大都市に不利な（東京狙い撃ちとも言える）見直しであり、今後葛飾区の財政に多大な影響を及ぼす可能性があります。大都市特有の行政需要に対応するための財源確保など改めて求めて続けて行かなければなりません。

その他、ふるさと納税による減収の見込みが 5 億円ともいわれとおり、区の財政へ与える影響も少な



くない状況になっています。今後葛飾区としてもふるさと納税への対応を進めていく必要があります。

歳出では子ども食堂など子どもの支援活動への補助制度の新設や、保育園待機児童対策、認知症対策の強化、寅さん記念館リニューアル、中小企業の事業継承支援事業、無電柱化計画策定、液状化対策費助成拡充などが盛り込まれました。

かわごえ誠一連絡先

〒124-0012 葛飾区立石 8-4 7-1 8

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動は Facebook をご覧ください。

かわごえ誠一プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒 ●立石在住30年 ●一男二女の父親 ●保育園/学童保育クラブ父母会、小中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワーク、三番瀬保全活動などに携わる ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●前都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●かつしか区民連合幹事長 ●現在所属：議会運営委員会／総務委員会／地域活性化対策特別委員会

平成 30 年第一回定例会本会議代表質問報告



代表質問で登壇するかわごえ誠一

◆去る 2 月 26 日の第一回定例会本会議においてかわごえ誠一が代表質問に立ちました。ここにその項目を紹介します。

1) 中期実施計画から後期実施計画への見直しについて

Q: 後期実施計画は将来の財政状況や社会環境の変化を踏まえ見直しを進めよ。

Q: 2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて区として方向性を示すとともに、ポスト 2020 の社会情勢も想定した方針を立てるべきだ。

2) 葛飾区の環境政策について

Q: 葛飾区の環境政策において、持続可能な開発目標～SDGs の考え方を取り入れるべきだ。

Q: 葛飾区地球温暖化対策行動計画策定において、2030 年までに 2013 年比 28% の温室効果ガスの削減目標が掲げられているが、その決意をうかがう。

Q: 葛飾区での温室効果ガス削減には区民のインセンティブをあげるとともに、区内の最大事業所である葛飾区が主導し取り組みを進めよ。

Q: 葛飾区の生物多様性にとって重要な地域である水元公園周辺の環境を保全するため庁内の連携を密にし、区が主導して関係機関や団体などとの合意形成をはかり生物多様性保全に努めるべきだ。

3) 葛飾区の人権政策について

Q: 「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」のいわゆる人権新三法が施行されたが、最新の人権課題や無意識の偏見について区が積極的に周知し、人権教育や啓発活動を行うべきだ。

Q: 葛飾区として最新の法律やダイバーシティなど社会情勢を取り込むと同時に、当事者の意見を反映する施策を進める必要があるが、今後の人権施策推進指針の見直しに活かせ。

4) 立石地域のまちづくりについて

Q: 立石のまちづくりを進めるため、区の方針を説明し、区民の意見を伺うために積極的に地域に出向くことが大切だ。また住民参加によるまちづくり協議会などをつくる必要がある。

Q: 立石のまちづくりの課題は、駅前再開発地域のみでなく現区庁舎周辺、高架下、中川、交通政策、観光振興、歴史文化の保全継承、など多岐にわたる。再開発後の振興や景観のまちづくりも見据え、立石地域全体の将来へのビジョン・みちしるべを作るべきだ。

Q: 再開発にかかるまちづくりでは地域コミュニティのあり方が大きく変わり、ハード面とともにソフト面の支援が大切になる。地域と関係機関との橋渡し機能を強化し、将来の協働のパートナーを育て、コミュニティデザインに取り組むなどの支援を進めるべきだ。

5) 葛飾区の観光振興と民泊について

Q: 宿泊施設の少ない葛飾において、民泊は区のイメージアップや観光振興の資源としての可能性を持つ。民泊を活用するための方向性を検討するべきだ。

Q: 住宅宿泊事業法の施行と旅館業法の改正に伴い、近隣の住環境を保全するために一定の規制が必要だ。

Q: 区として民泊の現状をどう把握しているか。両法の施行に伴い、届け出等の申請や指導、問い合わせや苦情などが増えると予想されるが、混乱を避けるため庁内の体制整備が必要だ。

その他、予算委員会の状況等は次号以降でご報告します。

2月3日 タウンミーティング報告 みんなにやさしい交通まちづくりを目指して

去る 2 月 3 日（日）に 11 月の区議選後初めてのかわごえ誠一タウンミーティング＆テーマ別学習会を開催しました。多くの方にご参加いただき感謝申し上げます。



タウンミーティングの会場風景

区民とともに新金線実現へ

今回は葛飾区の交通政策についてをテーマに、区の交通計画担当課長から現在バス社会実験等で交通不便地域の解消等に取り組んでいる状況や、新金線の需要予測等の調査を進めることなど報告していただきました。次に「新金線いいね！区民の会」のメンバーから新金線の旅客化実現のためのシュミレーションの状況や、区民の立場から情報発信を行っている状況など、新金線 LRT 化に向けての夢を語っていただきました。区民と協働して新金線実現の機運を高めていきたいと感じました。



進行をするかわごえ誠一

かわごえ誠一オフィシャルサイト～ www.kawagoeseiichi.com
日々の活動は Facebook→かわごえ誠一をご覧ください